

待機児童対策等の取り組みについて

本市では、平成28年度から待機児童解消に向けた緊急対策を行い、5年間で約5,300人の受入枠増を図ってきましたが、保育所利用希望者の大幅な増加により、令和3年4月1日現在で149人の待機児童が発生しています。今年度の施設整備により、約600人の受入枠を確保できる見込みですが、令和4年4月の待機児童数は、昨年度に比べ減少するものの、1歳～3歳児に一定数発生する見込みです。

このような状況を踏まえ、令和4年度は300人の受入枠の拡充計画を立て施設整備を行うとともに、市立幼稚園の活用を図ることで、待機児童対策に取り組めます。

【参考：就学前児童数と認可保育所等の申込児童数等の推移(2018～)】(単位：人)

	2018.4	2019.4	2020.4	2021.4	2022.4	2023.4
就学前児童数(A)	16,745	17,049	17,233	17,071	17,138	17,034
受入枠	5,863	7,085	7,488	8,564	9,165	9,465
申込児童数(B)	7,149	7,729	8,265	8,451	9,059	9,345
保育所等申込率(B/A)	42.7%	45.3%	48.0%	49.5%	52.9%	54.9%

※受入枠は、子育て安心プランの利用定員数から、幼稚園預かり保育事業の枠を除いた数値。

1 受入枠の拡充【令和4年度予算額 1,605,436千円】

保育所等の整備計画及び過去5年間の実績は以下のとおりです。

計 画	①保育所等の新設、増築3か所	186人
	②小規模保育事業所の設置6か所	114人

受入枠拡充 状況	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	+786人	+952人	+1,929人	+423人	+1,205人	+613人

**6年間で受入枠5,908人拡充
2016年(平成28年)4月1日から約2.3倍**

【参考：今年度の施設整備状況】

NO	内容	施設数	合計
1	保育所※	4	207
2	認定こども園	2	183
3	小規模保育事業所	4	72
4	市立幼稚園の幼稚園型認定こども園移行	2	60
5	企業主導型保育事業	3	79
6	幼稚園3歳児保育拡充	2	12
	受入枠合計	17	613

※小規模保育事業所から保育所に移行した園1園、増員した園1園含む。

なお、現在待機児童となっている児童を、緊急臨時的に受け入れているあかし保育ルーム西新町園について、令和4年4月の待機児童の状況を踏まえ令和5年4月以降の事業継続の必要性を検討します。

2 保育士確保と質の向上【令和4年度予算額 396,392千円】

保育士の確保、定着、専門性向上に向けた施策を引き続き実施することで、子どもにとって良好な保育環境を整えるために必要不可欠である保育士の量の確保及び質の向上に取り組めます。

具体的には、これまで実施してきた、市内私立保育所等に勤務する保育士に対する経済的支援や私立保育所等に対する処遇改善事業、保育士総合サポートセンターを活用した就業支援事業などの保育士確保策を引き続き実施するとともに、就職フェア（福祉職と同時に実施予定）や研修などについては新型コロナウイルス対策を十分に講じたうえで実施します。

また、保育所の職場環境向上に取り組む法人に対する支援も引き続き実施します。